

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：輸送用機械器具製造工場における工業炉（加熱炉）の更新による排出削減事業（方法論 003）

排出削減事業者名：新発田鍛工株式会社

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	新発田鍛工株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	新発田鍛工株式会社
住所	〒957-0082 新潟県新発田市佐々木 2907 番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

輸送用機械器具製造工場における工業炉（加熱炉）の更新による排出削減事業（方法論 003）

2.2 排出削減事業の目的

既設の工業炉を更新し、且つ、使用燃料を再生重油（A 重油相当）から都市ガスへ転換することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設の工業炉を更新し、且つ、使用燃料を再生重油（A 重油相当）から都市ガスへ転換することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2011年 11月 1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ～ 2018年 3月 31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
003	工業炉の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
工業炉	単位生産量あたりの投入熱量 (MJ)	投入熱量 (MJ)
		生産量 (kg)

4.2.2 活動量の採用根拠

事業実施前後において、単位生産量あたりの投入熱量は、計測可能かつ工業炉のエネルギー使用量に最も影響を与える値である為、活動量として採用する。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

燃料供給設備及び工業炉設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由	
<i>F_{fueli,PJ}</i>	事業実施後燃料の使用 量	千 Nm3	1, 2, 8 号炉の年度合計	管理用メーターを読み取る。 1.0448m3=Nm3 (新発田ガス株のスペックシートにて確 認。)	変更なし	
			2013 年度 : 514.1			
			2014 年度 : 459.7			
			2015 年度 : 480.2			
			2016 年度 : 512.5			
			2017 年度 : 508.3			
			2013 年度	177.8		1 号炉における実測値
				178.1		2 号炉における実測値
				158.1		8 号炉における実測値
			2014 年度	155.8		1 号炉における実測値
				162.5		2 号炉における実測値
				141.4		8 号炉における実測値
			2015 年度	160.5		1 号炉における実測値
				162.8		2 号炉における実測値
156.9	8 号炉における実測値					
2016 年度	163.2	1 号炉における実測値				
	187.0	2 号炉における実測値				
	162.2	8 号炉における実測値				
2017 年度	164.1	1 号炉における実測値				

				186.5	2号炉における実測値	
				157.7	8号炉における実測値	
$HV_{fuel,i}$ PJ	事業実施後燃料の単位 発熱量	GJ/ 千 Nm3	2013年度 ～2017年度: 42.16		新発田ガス(株)のスペックシートにて確認。	変更なし
G_P	事業実施後の工業炉の エネルギー原単位	MJ/kg	2013年度	5.309	1号炉における実測値	変更なし
				4.885	2号炉における実測値	
				4.473	8号炉における実測値	
			2014年度	4.598	1号炉における実測値	
				4.711	2号炉における実測値	
				4.161	8号炉における実測値	
			2015年度	5.166	1号炉における実測値	
				4.650	2号炉における実測値	
				4.732	8号炉における実測値	
			2016年度	4.818	1号炉における実測値	
				4.923	2号炉における実測値	
				4.426	8号炉における実測値	
			2017年度	4.838	1号炉における実測値	
				4.534	2号炉における実測値	
				4.450	8号炉における実測値	
G_B	事業実施前の工業炉の エネルギー原単位	MJ/kg	2013年度	8.256	1号炉における実測値	変更なし
				10.046	2号炉における実測値	
				12.618	8号炉における実測値	

			2014 年度	8.256	1 号炉における実測値	
				10.046	2 号炉における実測値	
				12.618	8 号炉における実測値	
			2015 年度	8.256	1 号炉における実測値	
				10.046	2 号炉における実測値	
				12.618	8 号炉における実測値	
			2016 年度	8.256	1 号炉における実測値	
				10.046	2 号炉における実測値	
				12.618	8 号炉における実測値	
			2017 年度	8.256	1 号炉における実測値	
				10.046	2 号炉における実測値	
				12.618	8 号炉における実測値	
$CF_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料(都市ガス)の単位発熱量あたりの排出係数	tCO2/GJ	2013 年度 ～2017 年度:0.0505		新発田ガス(株)のスペックシートにて確認。	変更なし
$CF_{fuel,BL}$	事業実施前燃料(再生重油)の単位発熱量あたりの排出係数	tCO2/GJ	2013 年度～ ～2017 年度:0.0708		(有) オイルメンテナンス新潟、(株)パンオイルサービスからの燃料証明書にて確認。	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	514.1	42.16	0.0505	1,094.5
2014 年度	459.7	42.16	0.0505	978.8
2015 年度	480.2	42.16	0.0505	1,022.2
2016 年度	512.5	42.16	0.0505	1,091.2
2017 年度	508.3	42.16	0.0505	1,082.2
単位	千 Nm3	GJ/千 Nm3	tCO2/GJ	tCO2
EM _{PJ}				5,269.1

6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	45,909.5	—	0.0708	3,250.4
2014 年度	44,484.6	—	0.0708	3,149.5
2015 年度	43,280.3	—	0.0708	3,064.2
2016 年度	47,383.7	—	0.0708	3,354.8
2017 年度	48,078.3	—	0.0708	3,403.9
単位	GJ	—	tCO2/GJ	tCO2
EM _{BL}				16,222.8

6.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
2017 年度	0			0
LE				0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	16,222.8
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	5,269.1
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	10,953

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン－実績 (①－②)
5,911.7	2,691.9	3,219.8

省エネルギー量（原油換算）＝ 3,219.8 kl

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間（ 年 月 日 ～ 年 月 日）			
	単位	エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
		(実績)	(実績)	(実績)